

# 総務 常任委員会

本会議より付託された案件は、補正予算関係5件、その他1件、計6件である。

## ■仙北市一般会計 補正予算(第8号)

○歳入

**問** 教育使用料の教職員住宅使用料がマイナス15万1千円になった理由は。

**答** 現在、教職員住宅は5棟あり、入居しているのは武蔵野の1棟で、残り4棟は空き家になっている事から、歳入の見込みとして減額するものである。

**問** そこには教職員でなければ入居できないという条件があるのか。当分の間空くというのであれば都市整備課と協議をし、一般市民にも市営住

宅として使用させて頂く事はできないものか。

**答** 教職員住宅の入居要件については、現行の条例では教職員と明記されていると考えている。現在、生保内にある住宅も老朽化し、しばらく使用していかないものもある。以前から解体や一般住宅にしたという話があり、教育委員会に確認し、今後の取り扱いについて検討して頂くようにしたい。

**問** 地方特例交付金が594万8千円の減額で交付決定されて来たという事であるが、今後の見通しについて伺う。

**答** 今回、減額になった主な原因は、子ども手当の減額に伴うものである。この動向を見る限り、今後、増額になる事は考え難い。更に、自動車取得税関係では議論の渦中であり、この動向によつては減額になる事も考えられる。

○歳出

**問** クニマス里帰りプロジェクト事業の関係で、クニマスの研究は進んで

いるのか。

**答** プロジェクトチームを編成し、中坊教授を中心に秋田県、山梨県、富士河口湖町で色々な研究を行っている。

賛成討論

地域運営体活動推進費交付金500万円について、より良い運営体として発展する為の大切な条

件として、用途については事前に運営体の代表者等と協議し、内容をチェックして、お互いに理解し、認識し合う事を要望する。

件として、用途については事前に運営体の代表者等と協議し、内容をチェックして、お互いに理解し、認識し合う事を要望する。

## ■仙北市集中管理 特別会計補正予算 (第1号)

**問** 級別の職員のバランスや給与体系について、

改革の考えはないのか。

**答** 上級の職員が増えた理由として、新たな組織の追加や退職者の不補充に伴う若年層職員の減少が挙げられ、職員の年齢構成上、級別の職員構成において偏重状況が生じている。ある程度はやむを得ないが、より一層の適切な人事異動や、組織・機構の簡素化に配慮

しながら人事管理に努めたい。

## ○採決の結果

付託された6件の案件は、全会一致で原案を可とすべきものと決定した。

(田口(寿) 記)



本格的に動き出したクニマス里帰りプロジェクト  
(田沢湖・西湖姉妹湖提携調印式)



すべての地区に地域運営体が立ち上がった  
(角館まちづくり地域運営体設立総会)